

第3回「江戸川区みどりの基本計画」改定委員会 意見の概要

令和5年3月23日（木）に第3回「江戸川区みどりの基本計画」改定委員会を開催し、以下の内容についての説明を行い、意見交換を行いました。

- 1) 「江戸川区みどりの基本計画」（素案）について
- 2) 今後のスケジュールについて

意見交換1	「江戸川区みどりの基本計画」（素案）について
	<p>○第1・2章は計画の前提であり、大切なのは第3・4章なのでそこをわかりやすくしてはどうか。</p> <p>○鹿骨地区で「農の風景育成地区」が指定される予定である。この計画でも本事業についても触れ、都市農業の役割や位置づけに関する内容を入れてはどうか。</p> <p>⇒担当部署と連携しながら、本事業の内容をうまく取り込んでいきたい。</p> <p>⇒「農の風景育成地区」の指定に向けて、農家、区民、学生団体などとワークショップを開催し、農地を減らさないための取組などを検討してきた。コロナも収束してきているため、鹿骨地区で開催されるお祭りなどのイベントを活用しながら農への関心を高める取組を実施していきたい。</p> <p>○「みどり」は非常に多岐に渡る内容のため、今後も議論していきたい。</p> <p>○多くの方に知ってもらうことは非常に重要である。若い世代は SNS などを通じて情報を得ているため、そういった媒体を活用して、情報を発信してはどうか。</p> <p>○コロナの影響でオンライン会議等が主流になったが、一方で対面の良さも見直されている。特に子ども向けに対面で教育活動などを実施することは重要であると認識している。</p> <p>⇒えどがわエコセンターでは、学校で、子ども向け講座を開催している。みどりに関しては、実際に公園に行ってみるなど、体験型のものが良いと思っている。本計画では生物多様性についても触れられているため、そのような講座も開催していきたい。</p> <p>○数値目標を設定しているが、区の将来像の達成に向けてしっかりと検討する必要がある。</p> <p>○農に関する目標値を入れたいと考えている。生産緑地の面積は減少しているが、例えば「ふれあい農園」や「区民農園」などを活用し、農に関わる人の数を増やすなどを検討してはどうか。</p> <p>⇒農に関する目標を立てることは重要である。区が農地を買取り農地面積を維持することや、生物にとっての生息環境などの視点から、目標を立ててはどうか。</p> <p>⇒農の産業的な観点からは数値設定は難しいが、農地の都市空間としての活用という観点からは設定できるのではないかと。公園内に農体験ができる場所を整備したり、現時点で倍率が非常に高い区民農園をより多く整備したりと、色々と検討できるのではないかと。</p> <p>○身近な生物種の多様性を構築するという観点などから、都市の生物多様性とは何なのかということも発信できるとよい。</p> <p>○土地の歴史などを大事にして、地域の良さを残しながら、みどりをつくってほしい。</p> <p>○この計画を身近に思ってもらい、親しまれる計画になるとよい。</p> <p>○みどりの量を増やすとともに、質や価値を高めていくという視点が大切である。</p> <p>○「第6章 計画の実現に向けて」では、ぜひ江戸川区らしさを前面に出してほしい。</p>
意見交換2	今後のスケジュールについて
	<p>○特になし</p>